

1月 JANUARY

14日	香港・北京出張(～17日)
	面談 防衛大臣 北澤俊美氏
20日	赤十字飛行隊沖縄支隊長委囑報告および懇談会
	面談 吉本興業株式会社 代表取締役社長 大崎洋氏
	沖縄防衛協会新春の集い
	劇団四季公演特別招待券贈呈式
21日	要請 南城市議会議長など
	面談 沖縄及び北方対策担当大臣 枝野幸男氏
23日	エアフェスタ祝賀会
24日	東京・大阪出張(～28日)
	危機管理対策本部会議
28日	面談 日本青年会議所沖縄地区協議会 会長 花城大輔氏
	面談 在日米軍司令官 フィールド中將
	沖縄新華僑華人総会設立祝賀会および2011年新春の集い
29日	TPP交渉への参加に反対する沖縄県民大会
30日	2011年空手道・古武道新春の集い
31日	面談 第39回全日本きもの装いコンテスト「装いの女王」
	要請 障がいのある人もない人もいのち輝く条例づくりの会

2月 FEBRUARY

2日	那覇港管理組合議会(2月定例会)
7日	東京出張(～9日)
8日	「組踊」ユネスコ無形文化遺産記念祝賀会
	要請 (社)大日本猟友会および(社)日本クレー射撃協会
10日	面談 楽天株式会社 取締役 常務執行役員 小林正忠氏
	楽天株式会社との包括的連携協定締結式
	要請 沖縄県経済団体会議議長 知念榮治氏ほか
	要請 公明党・県民会
	沖縄国際アジア音楽祭記者発表
14日	面談 嘉手納町長 宮城篤実氏
	要請 沖縄市東部海浜リゾート開発推進協議会 会長 新垣直彦氏ほか
	面談 全国理容生活衛生同業組合連合会 理事長 大森利夫氏
15日	面談 与那原町県立郷土劇場誘致実行委員会



1月・2月の動き

県政フラッシュ

1/26・27 沖縄感謝の夕べ(東京・大阪)



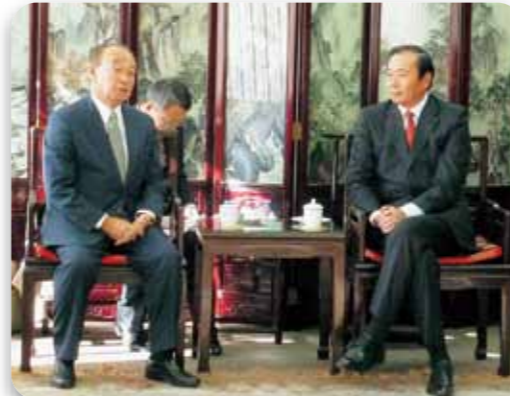
あいさつする仲井真知事

沖縄の観光や流通の振興に寄与した国および関係機関、航空会社、エージェンツのほか著名な沖縄ファンを招き、26日東京、27日大阪のホテルにて「沖縄感謝の夕べ」が開催された。観光・物流企業、政府関係者および美ら島沖縄大使などを含め東京会場に約1000人、大阪会場に約500人が参加し、沖縄のさらなる振興を誓った。

仲井真知事は「今後も引き続き皆さまのご支援・ご協力をいただきたい。年間観光入域客数1000万人の達成をめざして各種施策を展開していきたい」と呼び掛けた。

また、会場では琉球舞踊、2010全国エイサー大会でグランプリとなった「琉球舞団 昇龍祭太鼓」による演舞、県出身のスリムクラブ、デニー友利さんによる沖縄国際映画祭のPRなどが行われたほか、海ぶどう、ゴーヤーなど沖縄の特産品も紹介された。

1/14 香港・北京トップセールス



中国民用航空総局 夏副局長と会談する仲井真知事

那覇空港の国際航空物流ハブ事業開始後1年が経過したことを機に、1月14日から17日にかけて、臨空型企業誘致、県産品販路拡大、観光客誘致、路線誘致を目的にトップセールスが実施された。

香港では、観光・物産・物流の街頭PR、企業誘致セミナー、飲食業界セミナー、香港の関係者を招いての感謝の夕べ、物産商談会、アンテナショップの視察などにより沖縄の情報発信を実施した。

北京では、民航総局、海南航空を訪ね、北京路線開設を要請し、4月末に向け調整中との回答を得て、今後の進展につながる結果となった。

2/10 楽天(株)との包括的連携協定締結



協定締結式の様子

仲井真知事と楽天(株)の小林取締役常務執行役員が、沖縄の地域の活性化などを目的とした県と同社との包括的連携協定を締結した。

この協定により県と楽天(株)は、同社が運営する国内最大級のインターネットショッピングモール「楽天市場」や総合旅行サイト「楽天トラベル」などのネットワークを生かした県産品の販路拡大や観光客の誘客促進など幅広い分野で互いに協力して取り組む。

協定式で仲井真知事は「楽天(株)のネットワークを活用し、沖縄の観光、県産品、伝統芸能などの情報を国内外に発信し、県産品の販路拡大や観光客の誘客など地域の活性化を進めていきたい」と述べ、小林常務は「今回の連携協定締結を機に、沖縄の観光客の誘致や県産品の販路拡大につなげ、県とともに沖縄を元気にしていきたい」と述べた。

1/18 危機管理対策本部会議を開催



危機管理対策本部会議の様子

県内各地でインフルエンザの患者が急増し、また、他県で高病原性鳥インフルエンザの発生があることを受け、これらに対する各部署の対応を確認するため、沖縄県危機管理対策本部会議を開催した。

会議では、新型インフルエンザおよび口蹄疫の現状や、高病原性鳥インフルエンザの発生状況について報告があり、今後の対応について話しあうとともに、各部署の迅速な対応について確認した。

また、「新型インフルエンザ対策」や「口蹄疫や鳥インフルエンザの対策」について県民に対するメッセージを発し、注意喚起することとした。

- 2 県政フラッシュ
- 4 特集1
コンテンツ・リンクで商品開発・地域おこし
- 6 特集2
第3回沖縄国際映画祭いよいよ開催
- 8 特集3
ご存じですか? 民生委員・児童委員
- 10 比べてわかるみんなのシゴト白書
環境に携わるシゴト
- 12 県のうごき1
行政オンブズマン制度とは
- 13 県のうごき2
沖縄県の情報通信関連産業について
- 14 情報ひろば お知らせ
- 16 つながる広がる 人・モノ・文化 地域物語
峠の茶屋(北中城村)

沖縄県広報誌「美ら島沖縄」について

*

沖縄県広報雑誌「美ら島沖縄」は、県の施策や情報をわかりやすく県民のみなさまにお伝えする冊子です。公共機関や学校、銀行、病院など多くの方が利用する施設でご覧になることができるほか、沖縄ファミリーマートの店舗で無料配布しています。

本号とバックナンバーは県広報課ホームページでご覧になれます。

沖縄県知事公室広報課
TEL.098-866-2020
http://www.pref.okinawa.jp/churahome/

沖縄の人口
世帯の動き
平成23年1月1日現在





アクターズスクールの体験ミュージカル

沖縄県の取り組みは？

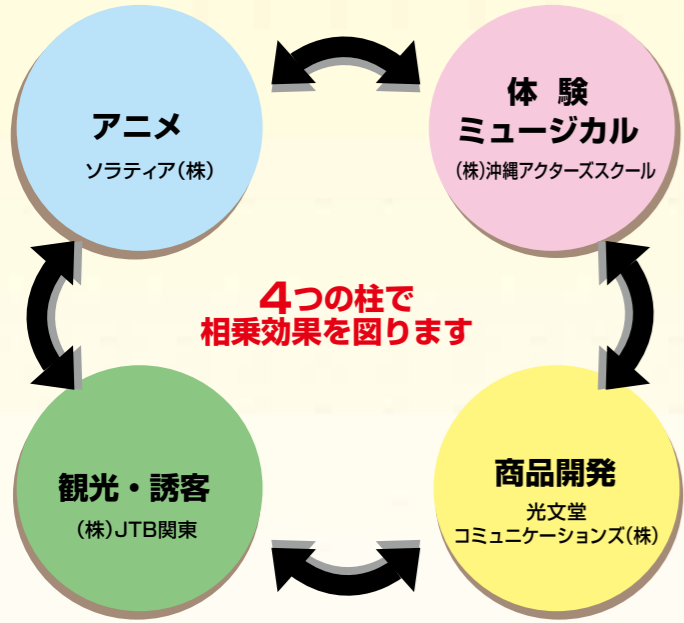
これらの動きを受けて、県では、各種のコンテンツ振興の取り組みに対し、「沖縄文化等コンテンツ産業創出支援事業」などの事業により支援しています。

その具体的なモデル事業として、ダンス、アニメや雑誌を制作するコンテンツ業者、農家、ホテルなどの多くの関係者が連携して、各種商品開発や地域おこしを行う「観光農商工連携強化モデル事業」(略称:沖縄Mプロジェクト)を実施しています。



同事業では、年間約四十万人訪れるといわれる修学旅行生を対象に、「体験ミュージカル」「関連アニメ制作」「関連商品開発」と「誘客用小冊子制作」を関係者で連携して事業を推進しています。

特にこの中で、アニメではモデル的に、うるま市にあるソラティア株式会社と共同で、沖縄を舞台に県産アニメ「島んちゅMiRiKa」の制作を進めています。沖縄で盛んなミュージカル、琉球舞踊、空手の頭文字にちなんだマイ(M)、ルリ(R)、ケイ(K)の三キャラクターを主人公に設定し、アニメと連動した商品開発、地域景観や観光客誘客に結び付け、沖縄のアニメ開発力・技術力を国内外にアピールしていきます。三月二十一日の九時五十分から琉球朝日放送で試験放映の予定です。ぜひご覧ください。沖縄の新しい可能性を体感してください。



—事業化などの相談窓口—

お問い合わせ	県新産業振興課	098-866-2340	(コンテンツ産業振興)
	県観光振興課	098-866-2763	(観光と連携した取り組み)
	(財)沖縄県産業振興公社	098-866-6255	(全般的な問い合わせ)

お問い合わせ ● 県産業政策課 TEL:098-866-2330 FAX:098-866-2440



沖縄国際アジア音楽祭 3月18日~20日開催!

コンテンツ・リンクで商品開発・地域おこし

マーケティングとキャラクター活用による商品開発

ここしばらく不況といわれても、スーパーなどには商品は溢れています。さらに、「沖縄ブーム」といわれてきましたが、沖縄県産品というだけでは売りにくくなりました。そのような中、注目されているのは、地域の取り組みなどのコンテンツと、商品が結びついているのヒット商品が数多く出てきていることです。

「コンテンツ・リンク」とは？

首都圏の仕入れ担当者からは「沖縄ブームは去った」といわれるようになり、数年間までは、沖縄の健康・長寿のイメージや科学的エビデンス(証拠・根拠)をもとに、飛ぶように売れていた健康食品などの販売は、現在は苦戦を強いられています。

他方、ご当地キャラとしての特撮番組「琉神マブヤー」関連商品の平成二十二年の売上は数億円以上となり、収益金の一部を学童保育、環境団体、世界のウチナーチユ大会へ寄付するまでになっていきました。また、販売が低迷していた、もずくですが、「沖縄版ミュージカル肝高の阿麻和利」と連携して商品開発された「肝高のもずく餃子」の売上げが、平成二十二年は約三千万円となり、平成二十年の連携



琉神マブヤーから「世界のウチナーチユ大会への」への協賛金贈呈

今回は、その取り組みの一部を紹介していきます。

地元企業と連携 「ジャンプステーション沖縄」

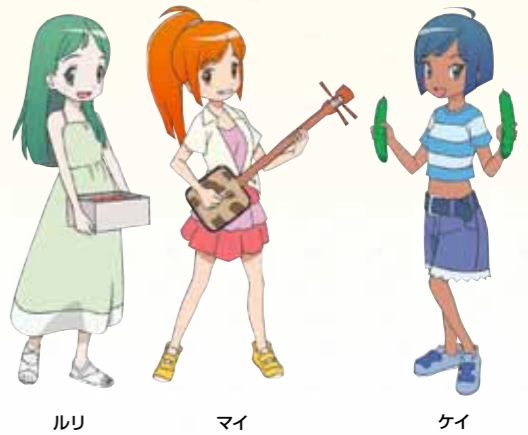
昨年七月、那覇市国際通りに、若者に人気のマンガ雑誌、週刊少年ジャンプのご当地限定ショップ「ジャンプステーション沖縄」がオープンしました。人気キャラクターのTシャツはもとより、伝統的な県産菓子とも積極的な連携を図っています。

世界で最も発行部数の多いといわれている漫画「ONE PIECE」と連携して「ONE PIECE」(ワンピース)を株式会社集英社と開発した有会社新垣菓子店・新垣淑豊専務は、「チャンスは、購入される方の年齢層が高いのが特徴です。しかし、今回「ONE PIECE」の商品を制作することにより、若い方々にも商品も購入してもらい、新たなファンも増えています」とコンテンツ



那覇市牧志のてんぶす館向かいにあるジャンプステーション沖縄

ツ・リンクによって可能性が広がっていることを実感されています。



ルリ マイ ケイ



沖縄国際アジア音楽祭 3月18日~20日開催!

第3回沖縄国際映画祭プログラム

カウントダウンイベント (3月18日(金)～3月21日(月))

会場: 那覇市、桜坂劇場および国際通り周辺、北谷町および周辺小中学校、沖縄県内各所(予定)
よしもと芸人や多彩なゲストも参加して、沖縄国際映画祭を盛り上げる企画が目白押しのカウントダウンイベントを開催します。

セレモニー

本開催初日の3月22日には国内外からのスター、映画人たちがレッドカーペットを華やかに飾り、オープニングセレモニーが開催されます。3月27日には10日間の日程を締めくくる盛大なクロージングセレモニーを行います。

長編プログラム "Laugh"部門・"Peace"部門

「笑える、もしくは観終わった後に幸せな気持ちになれる」という趣旨に沿った要素のある日本劇場未公開の新作長編コメディ作品を上映する、本映画祭の「核」に位置づけられるプログラムです。

- ★観客賞 "Laugh部門" 海人賞グランプリ、"Peace部門" 海人賞グランプリ (賞金各2,500,000円)
- ★審査員特別賞 ゴールデンシーサー賞/金石獅賞

特別上映作品

- ★日本のコメディ 新作・旧作にかかわらず、日本で製作された傑作コメディ映画の中から、選びぬいたラインナップを上映します。
- ★世界のコメディ 国・地域にかかわらず、世界で製作されたコメディ作品、後世に語り継ぎたい古典的な名作から知られざる傑作をセレクトして上映します。
- ★リスペクト上映 日本が世界に誇る"エンターテインメント"に注目する特集上映です。
- ★地域発信型映画 日本中の素敵な場所や街、風景やそこに住む人々の素晴らしさと一緒に、ものづくりをすることの楽しさを一人でも多くの人々に伝えたく、新たに【地域発信型映画】をメインプログラムの一つとして製作・上映します。
- ★ビーチ上映 宜野湾海浜公園のトロピカルビーチ特設ステージで南風をうけながら、ゆったり鑑賞できる作品を上映します。

JIMOT CM COMPETITION

今回は誰でも地元愛があれば応募できる形式として、アイデアシートでの募集をしました。全国から565通のご応募いただきました中から、地元愛を強く感じた10作品を、よしもとがみなさんと一緒に地元の魅力を伝えるCMを制作し、地元を「Laugh&Peace」にする"ナンバー1"CMを決定します。

World Wide Laugh

「お笑い映像コンテンツ」のコンペティション。「ゴールの瞬間の喜びを、言葉を使わずに表現してください」をお題に、「翻訳なしで世界中の人を笑わせる」映像を全世界から募集しました。今回は動画共有サービス「ニコニコ動画」とタッグを組んで展開します。

ステージイベント

宜野湾海浜公園のトロピカルビーチ特設ステージにて"Laugh"できる「お笑いライブ」や"Peace"な気持ちになれる「音楽ライブ」など、盛り上がるステージイベントを毎日繰り広げます。

沖縄コンテンツバザール～日本から世界に発信～

日本のテレビ番組の高い企画力、番組制作力と、海外のプロダクションとの共同制作の場を設け、世界市場に向けたコンテンツを制作します。

沖縄コンテンツランド

様々な企業のコンテンツを体感できる製品、サービスを展示します。

募集情報・最新情報は沖縄国際映画祭
ホームページまで <http://www.oimf.jp/jp/>



お問い合わせ ● 県観光振興課 TEL:098-866-2764 FAX:098-866-2765

第3回沖縄国際映画祭 いよいよ開催 沖縄からLaugh&Peaceを世界へ発信!

今年も沖縄国際映画祭がやってきます!!

昨年の「第2回沖縄国際映画祭」では、9日間で国内外から38万人が来場し大盛況で幕を閉じた本イベント。

今年は期間も10日間に拡大され、那覇国際通り周辺でのカウントダウンイベント、国内外から映画監督や俳優など多くの著名人が登場するレッドカーペット、Laugh部門とPeace部門に分けて賞を競う長編作品の上映、「沖縄コンテンツランド」「沖縄コンテンツバザール」と称したマーケットなどを実施するほか、新企画としては「地元アピールのためのCM企画」を募集する「JIMOT CM COMPETITION」、全国7市町で制作した「地域発信型映画」の上映なども盛り込み、さらにスケールアップした内容となっています。

沖縄で「Laugh」、そして「Peace」な気持ちになっていただき、さらに沖縄の魅力も存分に感じていただける「沖縄国際映画祭」に、ぜひ足を運んでみましょう。



ビーチステージの様子



大崎実行委員長のあいさつ



レッドカーペットを歩く仲井真知事

※写真は第2回国際映画祭



沖縄国際映画祭
OKINAWA INTERNATIONAL MOVIE FESTIVAL

◆開催概要

会期: 3月18日(金)～3月27日(日)

会場:

第1会場: 宜野湾市 沖縄コンベンションセンターおよび周辺地区
第2会場: 那覇市、桜坂劇場および国際通り周辺・北谷町および周辺小中学校

主催: 沖縄国際映画祭実行委員会
URL: <http://www.oimf.jp/>

沖縄国際映画祭実行委員長メッセージ

大崎 洋 吉本興業株式会社 代表取締役社長

沖縄国際映画祭は沖縄の人々に愛される、楽しみにしてもらえる映画祭にしようと、始めた取り組みです。最初は手探り状態でしたが、地元の方々に支えられ、回を重ねるごとにパワーアップしてきました。県内小学校などで実施したワークショップでは、タレントやスタッフが映像づくりの楽しさを伝えたいと考えていましたが、逆に子どもたちに教えられているところもあります。東京・大阪の日々の忙しさと忘れがちな「喜び」を肌で感じることができるのは、すごく大事なことです。

昨年は、地域発信型の映画「ニライの丘」を北谷町の皆さんと共同制作しました。その輪を広げ、今回は全国で7作品を製作しました。私たちの町・村の自慢を映像にして、年に一度沖縄に集めた後、全国各地の公民館などで上映します。今後は、アジアの村や町にも地域発信型映画を広げたいと考えています。商店街や会社、役所などそれぞれの立場で、小さなことでも映画祭とかがわって、盛り上げていただけるとありがたいです。

ご存じですか？

民生委員・児童委員

地域における相談・支援のボランティア

平成二十二年十二月に民生委員・児童委員の全国一斉改選が行われ、沖縄県でも新たに約二千人の委員が民生委員としての活動を開始しました。

民生委員・児童委員制度はその源といわれる済世顧問制度より九十年余りの長い歴史をもつ制度であり、地域に根ざした福祉活動を展開し、あたたかな地域社会づくりをめざしています。



平成22年度委嘱状交付式

「民生委員・児童委員について」

民生委員・児童委員とは

民生委員は、民生委員法に基づいて厚生労働大臣から委嘱され、地域における生活上の悩みや福祉問題についてさまざまな相談支援活動を行っています。民生委員は児童福祉法により児童委員も兼ねていて、「民生委員・児童委員」と呼ばれ一定の区域を担当して地域活動を行っています。また、一部の児童委員は児童に関する専門的知識を有する「主任児童委員」の指名を受けています。民生委員・児童委員の任期は三年です。

活動の目的

社会奉仕の精神をもって住民の立場に立って相談に応じ、住民が尊厳をもってその人らしい自立した生活ができるように支援を行うことに

よって、誰もが安心して暮らすことのできる地域社会づくりをめざします。

民生委員・児童委員の活動

- 民生委員・児童委員の活動の基本は七つのはたらきにあります。
- ① 生活の実態や福祉ニーズの把握に努めます。そのために、担当区域内の家庭を訪問することがあります。
 - ② 生活上のさまざまな相談に応じます。
 - ③ 介護や福祉の制度・サービスの情報提供をします。
 - ④ 関係機関との間に立つ連絡役を果たします。
 - ⑤ 必要なサービスが受けられるよう調整・支援します。
 - ⑥ 快適な生活ができるよう生活支援活動を行います。
 - ⑦ 生活上の問題点や改善策について、関係機関に意見を提起します。



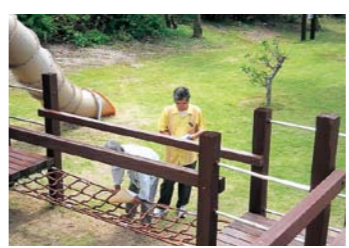
防災訓練・要援護者支援



放課後居場所づくり活動



料理教室



子どもの遊び場点検



- ・高齢者ふれあいサロン活動
- ・放課後居場所づくり活動
- ・子育てサロン活動
- ・放課後居場所づくり活動
- ・活動事例



秘密は守られます

民生委員・児童委員には守秘義務があり、相談内容や秘密がほかに漏れることはありません。住民一人ひとりの人権とプライバシーを尊重し、秘密を保持します。

沖縄県の状況

委員一人ひとりに担当する区域が定められており、全国には約二十万人の委員がいます。沖縄県では七十〜三百六十世帯に一人の基準で配置されており、約二千人の委員が各地域で活動しています。

また、県内には九十の民生委員児童委員協議会があり、民生委員・児童委員の全員が参加しています。

「沖縄県民生委員児童委員協議会 蔵當博文会長インタビュー」



蔵當会長

「私たち民生委員・児童委員および主任児童委員は、人権を守り、相談者や相談内容などの守秘義務もついていますので、生活上の困ったことがありましたら気軽に「ご相談ください。あなたの良き相談相手として、行政や関係機関団体を紹介したりおつなぎいたします。」

Q1 民生委員・児童委員はどのような活動をしているのですか？

「民生委員・児童委員は、担当する地域の実情を把握することに努め、赤ちゃんからお年寄りまで、住んでいる地域で安心して暮らせるようにと、地域の身近な存在として福祉に関することでの相談相手として活動しています。独居老人、老人世帯の見守り活動や、子どもたちの登下校のあいさつ・交通安全指導など、幼児・児童・老人虐待などの情報にも耳を傾けています。」

Q2 民生委員・児童委員はどのような相談にのってくれますか？

「生活に困窮している時の相談をはじめ、子ども不登校やいじめ、引きこもり、障害の問題、配偶者からの虐待や暴力、幼児・児童・老人虐待に関する問題、消費者被害の相談など、多種多様にわたっています。」

Q3 民生委員・児童委員に相談したいときはどこに連絡すればいいのですか？

「身近な民生委員さんがわかれば、直に「ご相談ください」が幸いです。または、自治会長もしくは社会福祉協議会、市町村行政福祉担当窓口にお問い合わせください。担当の民生委員・児童委員を教えてください。」

Q4 民生委員・児童委員になったきっかけを教えてください。

「小学校のPTA会長をしていた時に、自治会長より民生委員の空きが生じたので引き受けてほしいとの要請があり、住んでいる地域を知りたい・恩返しをしたいの思いから引き受けました。」

Q5 民生委員としてのやりがいを感じるのどんな時ですか？

「衰弱した一人暮らしの老人を救急車で病院に運び、その後退院をして元気に生活している姿を見た時は、支援をしてよかったと思います。その人は今も元気に過ごしています。」

県民の皆さまへのお願い

「ほんの少しの思いやりが地域の支え合いになります。」

民生委員・児童委員は、近隣による見守りと、各機関と連携した支援活動をしています。ご近所や知り合いに支援を必要とする人や家庭がありましたら、区域担当の民生委員・児童委員にお知らせください。

民生委員・児童委員に関するお問い合わせは

- ・お住まいの市町村の民生委員担当課
 - ・お住まいの市町村社会福祉協議会
 - ・沖縄県民生委員児童委員協議会
- TEL:098-882-5813



お問い合わせ ● 県福祉・援護課 TEL:098-866-2177 FAX:098-866-2758

一緒に考えグッジョブしよう!

農林高校×沖縄ファミマ商品開発プロジェクト

みんなでグッジョブ運動の理念のもと、本島内の農林高校3校と沖縄ファミリーマートでは、校内で育てた農作物や地域の特産物を活用した商品開発・流通を実践し、未来の担い手となる才能豊かな人材の育成をめざしたプロジェクトに取り組んでいます。

高校生の斬新なアイデアが詰まった商品とは…。県内の沖縄ファミリーマートへLet's Go!

【発売予定】

- ◆第1弾 北部農林高校 2月15日(火)～(約3週間)
 - ◆第2弾 南部農林高校 3月発売予定
 - ◆第3弾 中部農林高校 4月発売予定
- みんなでグッジョブ運動HP

みんなでグッジョブ運動 [検索](#)

勝間和代氏は何を語ったか!?

みんなでグッジョブ運動では、TVなどで活躍中の経済評論家 勝間和代氏を招いて就業意識啓発シンポジウム「チェンジメーカーになろう～自分を変えよう!沖縄が変わる!～」を開催。シンポジウムの模様を下記日程にて放映します。

- ◆日時 3月26日(土)午後3時～午後3時54分
- ◆琉球放送(RBC) デジタル3ch アナログ10ch
- ◇問合せ先 県雇用創出戦略スタッフ室 ☎098-866-2324

みんなでグッジョブ運動 [検索](#)

「業界別就業課題解決支援事業」のご案内

県では同業種の企業がある程度まとまり、就業問題に関する業界の課題把握、解決のための自主的な取り組みを行う場合、その費用を一部補助します。

- ◆補助内容
 - ①課題把握のための調査費
 - ②課題解決に向けた取り組みに要する経費
 - ③取り組み状況の周知に要する経費
 - ◆補助限度額 1業界あたり150万円
 - ◆補助率 4分の3
 - ◆対象業界数 3業界程度
 - ◆交付申請締切日 4月28日(木)
- 詳しくは、県雇用労政課HPでご確認ください。
◇問合せ先 県雇用労政課 ☎098-866-2366

一日のタイムスケジュール

[近隣中南部の調査の場合]
8:45 出勤
9:00～ 調査現場へ移動
終日、定点調査やフィールドワークなど川や陸上の生き物の観察・サンプリング
※ヘビやコウモリ、クワガタなど夜行性の生き物の場合は夜間調査(途中、食事休憩など有り)
20:00 退社

ハブやハチなどの被害、事故やケガ、体調管理に気をつけます。汚物が流れ込む川や暑さ・寒さが厳しい現場もありますが、さまざまな生物に出会えることが仕事の原動力。わからないことは専門書や科学論文などで調べ、お客さまへの成果報告はイメージを共有できる図や写真を使い、わかりやすい説明を心がけていきます。今後は技術士の資格取得をめざします。

仕事のツボ アドバイス

自然や動植物が好きで、大学などで専門の知識を身につけていることが望ましいでしょう。必須の技術や資格は特にありませんが、化学分析では環境計量士の資格があると有利。アルバイトから本採用という道もあるので、募集がなくてもまずは打診を!



一日のタイムスケジュール

[植え付け作業がある場合]
8:00～ 現場(今帰仁の海など)へ移動
9:30～ 海に潜ってサンゴの植え付け作業(途中、食事休憩など有り)
18:30 退社
※植え付け作業以外にリース用水槽のメンテナンスや営業、事務作業も担当。

ました。冬場の冷たい海中作業はつらいですが、サンゴが成長し、魚が少しずつ戻ってきたことを実感できるのは大きな喜び。植え付けたサンゴの定着は、多くても五十パーセント程度です。学校での出前授業やサンゴ養殖施設での体験学習会で子どもたちと触れる機会が多く、こちらが元気をたくさんもらっています。今の仕事を精一杯続けていきたいですね。

仕事のツボ アドバイス

県内に就職を絞り、周囲より早く2年次の2月に就活を開始。企業研究も早めに対応し、自分でチャンスを広げる努力をしました。面接では自分を誇張したり模範解答をやめて、自己を冷静に分析してありのままの姿勢で挑戦。それが良かったかも。



環境調査研究員



(株)沖縄環境分析センター環境調査部 生物環境室陸域生物課研究員 比嘉 敦さん(勤続3年10ヵ月・33歳)

好 きだった生き物のことを極めて仕事に

子どもの頃から生き物が好きでハトやカメを飼っており、中学時代から生物に関わる仕事がしたいと考えていました。進学は修士課程までは山形大学、博士課程からは筑波大学で川の藻類を専門に研究。卒業後は沖縄で就職しようと決め、自然環境で

の調査もしている今の職場のホームページをインターネットで見。募集はありませんでしたが、「ぜひ働きたい」とメールを送り、面接を経て採用となりました。

さ まざまな生物との出会いが大きなりがい

開発に伴う生物環境への影響を予測・評価するのが仕事。屋外調査では

潜水士(サンゴ養殖)



沖電開発株式会社企画開発部 経営企画グループ 中村 明毅さん(勤続2年・24歳)

機 械からサンゴへ、予想外の分野に挑戦!

飛行機設計に憧れて、琉球大学で機械工学を専攻。卒業研究では、ロボットのマグロも作りました。建設・機械関係の仕事を探る中で、不動産売買や管理、建設や造園など幅広い分野に携われる今の職場に魅力を感じて就職。入社後は予想と異なり、

海 のことを考える機会が増えました!

潜水士の免許取得もサンゴの知識を学んだのも入社後。必死に勉強し



環境に携わるシゴト

環境調査研究員と潜水士(サンゴ養殖)

沖縄の美しい自然を守るため、厳しい環境下で作業を行う二人。専門知識や技術を生かして意欲的に仕事をしていました。

その他の「環境に携わるシゴト」
・エコツアーガイド
・エコ資材の製造
・リサイクル業者など

みんなのヒント白書

仕事や職場を決めた理由、やりがいやターニングポイントなど、同じジャンルで職種が違う二人の先輩が仕事の本音を語ります。みんな迷って悩んで今がある!就活世代に役立つヒントがいっぱいあります。

行政オンブズマン制度とは

県では、県民の皆さまからの照会・相談・苦情などに対応するため、総合案内や県民相談コーナーを設置するほか、各課においても所管業務に関連した苦情・相談にに応じています。しかし、自己の利害に係る苦情を県の執行機関に申し入れてもうまく解決できない場合があります。そのような場合に、第三者的立場で県民の県政に対する苦情を調査・処理する制度が、沖縄県行政オンブズマン制度です。

行政オンブズマンの範囲

行政オンブズマンが処理する「苦情」とは、自己の利害に係る県の機関（議会と公安委員会は除く）の業務の執行に関する事項と県職員行為を対象とします。

- ① 判決、裁決などにより確定した権利関係に関する事項
- ② 裁判などで係争中の事案に関する事項
- ③ 沖縄県情報公開条例および沖縄県個人情報保護条例に関する事項
- ④ 県職員の人事、給与その他の勤務条件に関する事項
- ⑤ 行政オンブズマンの行為に関する事項

行政オンブズマンの職務

行政オンブズマンは、県民の立場に立ち、公正・中立な立場で次の職務を行います。

- ② 県政の非違について、是正などの措置を講ずるよう提言すること
- ③ 県政に関する制度などの改善を求める意見を表明すること
- ④ 提言、意見表明などの内容を公表すること

申し立て方法

苦情申し立ては、原則として苦情申立書により受け付けます。遠方にお住まいの方は、苦情申立書と同じ項目が記載された手紙やFAX、電子メールでも受け付けます。県民から行政オンブズマンに申し立てられた苦情で、調査対象となるものは、すべて調査し、その結果は詳しく説明します。

自己の利害に係る問題は、当事者間で解決できることが一番良いのですが、第三者の調整が必要な場合は、ぜひ行政オンブズマンにご相談ください。

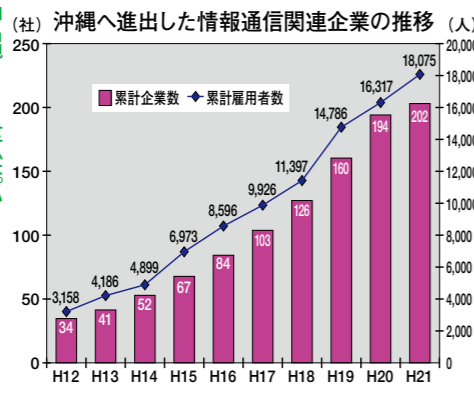
沖縄県那覇市泉崎一―二―
沖縄県知事公室広報課
行政オンブズマン相談室
電話 〇九八―八六六―二〇二二
FAX 〇九八―八六九―二二六三

沖縄県の情報通信関連産業について

ICTビジネスアワード表彰受賞企業決定

沖縄県の情報通信関連産業振興

県は平成十年度にマルチメディアアイランド構想を策定し、情報通信関連（IT）産業企業の誘致に力を入れてきました。その結果、約二百社の立地、一万八千人の雇用を創出しました。



ICT集積拠点をめざして

県では、IT津梁パークを整備し、八千人の雇用を創出するため、沖縄進出のメリットを最大限にアピールするプロモーションを展開するほか、本県の情報通信関連産業をより付加価値の高い分野へ

移行を促進しています。

【3つのキーワード】

- ① GIX(グローバル・インターネット・エクスチェンジ)構想
アジア向けビジネスを行う企業に対して、日本とアジア(世界)を結ぶ沖縄の新たな通信環境を形成し、国内企業のアジア市場へのビジネス展開を促進することを目的としています。
- ② ソフトウェア開発促進センター
独自ソフトウェア商材創出のための環境を整備し、自立型ビジネスを推進する産業構造を形成することを目的としています。
- ③ 沖縄ICT津梁パークテストインテグレーション構想
沖縄ICT津梁パークにテストインテグレーション機能の備わること、ソフト開発からテスト業務まで一貫した受注が可能になります。

今後の展開として、県はさらなる高度なIT技術を有する人材の育成・確保や、大都市圏におけるソフトウェア開発業務の受注拡大、クラウドコンピューティングを活用したSaaS(サーブ・パaaS(パース)・IaaS(アイアス

アイアス)ビジネスの推進を図っていく予定です。

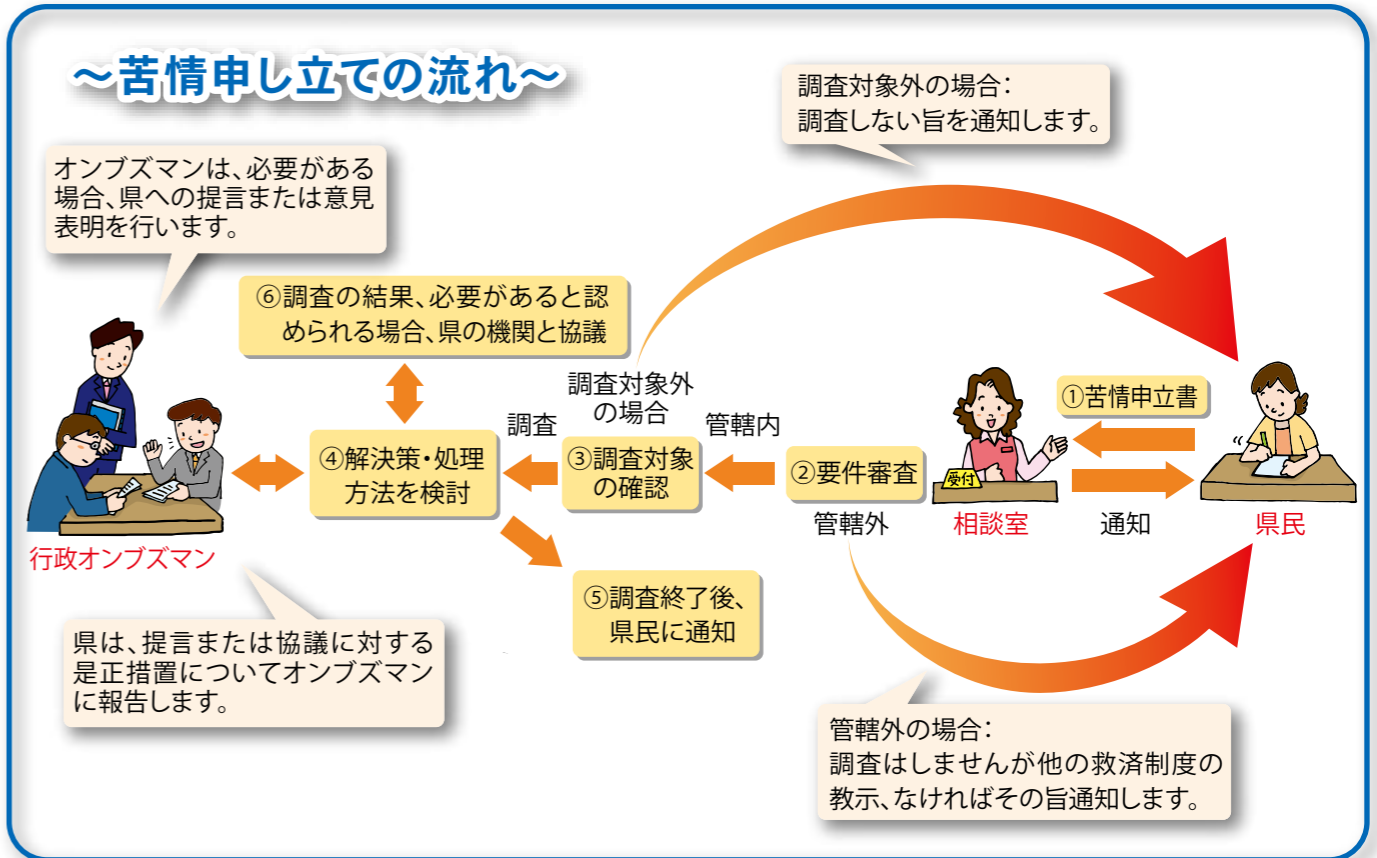
沖縄県ICTビジネスアワード表彰

県は、本県における情報通信関連産業の振興を図るために、「沖縄県ICTビジネスアワード表彰」を平成二十年度に制定しました。

本年度も民間、行政からなる審査委員会六人の委員が、自薦・他薦の応募企業を審査しました。沖縄県の経済・社会への貢献度として「積極的な事業の展開・拡張」や「新事業の立ち上げ・独創的な経営活動」、「人材育成・活用」、「地域行事への積極的参画」などの地域活性化に着目して審査した結果、次の五社を受賞企業に決定し、一月二十日(木)に表彰式を開催しました。

受賞企業・受賞理由

- ① 株式会社リユース
「かたん！サウンドレコーダー」が国内大手ダウンロードサイトで部門賞を受賞するほか、各商品を沖縄県産を銘打ったパッケージで販売するなど本県情報産業通信関連産業の知名度アップに貢献していることを高く評価。
- ② 株式会社琉球ネットワークサービス
システム開発にあたってロシア企業やアジア企業との技術提携を図り、また外国人社員の積極的な採用などグローバルな経営に取り組んでいることを高く評価。
- ③ 株式会社ジャスミンソフト
スマートフォンなど高性能携帯端末を利用したシステム開発を国



表彰式の様子

- ④ 株式会社創和ビジネス・マシンス
各分野のシステム開発に携わるほか、社員教育に大変力を入れており、県内の次世代リーダーの育成に貢献する取り組みを高く評価。
- ⑤ 日興コーディアル証券株式会社
沖縄県コールセンター資格認定制度の積極的な活用など、本県が取り組む情報通信関連産業の振興に大きく貢献していることを高く評価。表彰式後の交流会では、関係者、参加企業合わせて総勢百三十五人、六十社で大いに盛り上がりました。

沖縄県の取り組み

現在、情報通信関連産業は観光産業と並び沖縄県経済を担う大きな産業となっており、今後ますます発展が期待されている産業です。県は今後もさらなる情報通信関連産業の振興および雇用の創出・確保をめざして全力で取り組みます。県民の皆さまも「情報通信関連産業」にご注目ください。

お問い合わせ ● 県情報産業振興課 TEL:098-866-2503 FAX:098-866-2455

お問い合わせ ● 県広報課 TEL:098-866-2020 FAX:098-866-2467



情報ひろば

2011年3月

イベント

女性の健康週間パネル展

3月1日から8日は女性の健康週間です。県では期間中、パネル展を開催します。また、女性の健康に関する知識向上や健康課題の関心を高めるため、各市町村で女性の健康に関する相談事業や講演会などが開催されます。詳細は、お住まいの市町村窓口にお問い合わせください。

期間 2月28日(月)～3月4日(金)

場所 県民ホール(県庁1階)

問合せ 県国保・健康増進課
☎098-8666-2209

工芸技術支援センター展

日時 3月4日(金)～6日(日)
午前9時～午後5時

場所 工芸技術支援センター
(南風原町照屋213)

内容 平成22年度研修生の作品展示販売および所内技術指導の作品展示、子ども向けワークショップ開催など

問合せ 県工芸技術支援センター
☎098-8899-11186

日時 3月18日(金)～20日(日)

沖縄国際アジア音楽祭

3月 MARCH

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4 5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

4月 APRIL

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30



第3回沖縄国際映画祭

日時 3月18日(金)～27日(日)

場所 沖縄コンベンションセンター、那覇市内(桜坂劇場、国際通り周辺、北谷町など)

問合せ 県観光振興課
☎098-8666-2764

日時 3月19日(土)午後2時～5時

場所 沖縄大学同窓会館

内容 「ACT」の取り組み

問合せ 生活支援センターなんくる
☎098-8366-6971

おきなわ県民カレッジ交流祭

日時 3月20日(日)午後12時45分～

場所 県総合福祉センター

内容 生涯学習に関する講演、舞台発表、展示など

問合せ 県教育庁生涯学習推進センター
☎098-8664-10474

募集

平成23年度研修生募集

応募資格 工芸関連企業従事者またはこれから従事しようとする方で、県内に3カ月以上居住する者または県内に本籍を有するもの

募集人員 木工研修、漆工研修各々6人程度

研修期間 5月6日(金)～10月31日(月)

募集期間 3月1日(火)～31日(木)

問合せ 県工芸技術支援センター
☎098-8899-11186

内閣府青年国際交流事業

募集締切 3月31日(木)

募集事業 国際青年育成交流、日本・中国青年親善交流、日本・韓国青年親善交流、世界青年の船、東南アジア青年の船、青年社会活動コアリーダー育成プログラム

備考 県での中間選考を4月8日(金)に県庁で行う予定です。

問合せ 県青少年・児童家庭課
☎098-8666-2174

お知らせ

沖縄の厚生年金特別措置

平成18年度から施行されている沖縄の厚生年金特別措置が平成23年3月31日で終了します。この措置は、対象者について特別納付を可能とし特別加算を行うものです。昭和20年4月

労働相談

労使間のトラブルで悩んでいる方を対象に労働相談を行っています。相談は無料で、秘密は厳守します。お気軽にご相談ください。

相談時間 平日午前9時～午後5時

相談窓口 沖縄県労政・女性就業センター
☎0120-016101-2223

問合せ 県労政・女性就業センター
☎098-1941-4750

パスポートの窓口が変わります

4月1日から旅券事務の権限移譲によりパスポートの申請と受け取りが次の8市町村にお住まいの方は、県旅券センターから市町村窓口になります。

権限移譲市町村 うるま市、国頭村、大宜味村、東村本部町、金武町、北谷町、石垣市 ※八重山旅券発行所は、3月31日で閉鎖します。

問合せ 県旅券センター
☎098-8666-2275

福祉サービスの相談窓口

利用している福祉サービスについてお困りのことはありませんか。事業者などとの話し合いでも解決できない時、直接苦情を言いづらい時はご相談ください。

相談受付 平日午前9時～午後5時

問合せ 沖縄県福祉サービス運営適正化委員会
☎098-8821-5704

おきなわ県政出前講座

講座のテーマ 14分野80テーマ

対象 概ね20人以上の集会(宮利、宗教、政治活動を目的とするもの、苦情陳情を目的とするものは除く)

実施日時 (年末年始・祝日除く)
平日 午前10時～午後8時
土日 午前10時～午後5時

問合せ 県広報課
☎098-8666-2020

1日以前に生まれた方で、特別措置の要件すべてを満たす対象者の方は、早めにご予約を行うようお願いいたします。

問合せ 県福祉保健企画課
☎098-8666-2164

または各年金事務所

地デジ機器購入支援します

地デジ機器の購入費用等の一部(最大12,000円)を支援します。

対象 次の条件をすべて満たした世帯

1. 沖縄県在住世帯

各施設行事予定表

県立博物館・美術館

☆休館日:毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)

☎098-941-8200

◆バックヤードツアー
開催日: 3月5日(土)

美術館:午前11時～正午
博物館:午後2時～3時

定員: 先着各12人(受付午前9時～)

参加費: 無料

博物館

◆企画展「骨の科学」展
期間: 3月21日(月)まで

入場料: 一般300円、高校生・大学生200円、小・中学生100円

◆博物館常設展示解説会
日時: 3月3日(木)午後2時～3時

定員: 先着15人

※博物館常設展の当日入場券が必要です。

◆大嶺薫コレクション展
期間: 3月15日(火)～4月10日(日)

※博物館常設展の当日入場券が必要です。

美術館

◆企画展「安谷屋正義」展
期間: 3月13日(日)まで

入場料: 一般800円、高校生・大学生500円、小・中学生300円

≪関連イベント≫
シンポジウム「モダニズムを超えて」
日時: 3月4日(金)午後7時～9時

※「安谷屋正義」展の観覧券または半券が必要

県広報課からのお知らせ



3月 放送予定

5日・6日 沖縄国際アジア音楽祭～misix2011～
12日・13日 第3回沖縄国際映画祭
19日・20日 うまんちゅひろば この一年

テレビ放送時間 RBC 6:15 QAB 25:55 OTV 6:45

詳しくは沖縄県ホームページへ <http://www.pref.okinawa.jp/> トップページ▶広報・広聴について▶広報誌、テレビ番組等

県広報課 〒900-8570 那覇市泉崎1-2-2 TEL.098-866-2020 FAX.098-866-2467 kouhou@pref.okinawa.lg.jp

ラジオ県民室

お昼のひととき、県が実施する行事や募集のお知らせなどを行っています。

放送時間/毎週月曜日～金曜日

ラジオ沖縄 (864kHz) 11:50～11:55
RBCラジオ (738kHz) 11:55～12:00
F M 沖縄 (87.3MHz) 12:55～13:00

ご意見・ご提言 募集 県政に対するご意見・ご提言をEメール、FAX、手紙などで募集しています。

あて先 県民ご意見箱、知事へのたより

※記入様式などは、ホームページをご覧ください。

「高病原性鳥インフルエンザ」侵入防止についてのご理解とお願い

九州で、高病原性鳥インフルエンザが続発しています。県内に高病原性鳥インフルエンザを侵入させないため、県民の皆さまのご理解・ご協力をお願いします。

家きん飼養者の皆さまへのお願い	県民の皆さまへのお願い	関係機関の連絡先
次の侵入防止対策をお願いします。 ①家きんの健康観察、早期通報の徹底 ②消毒の徹底 ③防鳥ネットの設置 ④部外者の立入制限など	①家きん飼養施設への立入制限 ②風評被害の防止 ③死亡野鳥に関する通報 ●県自然保護課 ☎098-866-2243 ●環境省那覇自然環境事務所 ☎098-858-5824 ●市町村役場	中央家畜保健衛生所 ☎098-945-2297 北部家畜保健衛生所 ☎0980-52-2939 宮古家畜保健衛生所 ☎0980-72-3321 八重山家畜保健衛生所 ☎0980-82-2041 県畜産課 ☎098-866-2269



ゆんたくから生まれるアイデア

ここはいろいろな情報交換の場

恵美子さんは地域みんなのお母さん

自分ができるとみんなが持ち寄ればいい!

島袋さんを中心にみんながつながっています

北中城村の素晴らしさをどんどん発信したい!

新しい農業で地域をもっと元気にしたい!



左から、高良健さん、田仲康信さん、安里芳子さん、島袋恵美子さん、山内米一さん、安里雄徳さん



毎月第3日曜日に開催している車いすのシンガー「謝花伊早武トーク&ライブ」では、謝花さんの歌に勇気づけられる



ヤチムンからEM米、味噌、ワイン、お茶、アクセサリまで、さまざまなジャンルの特産品を販売



安心安全な有機野菜を使って、峠の茶屋の料理が生まれる



メンバーが愛情を込めて作った北中城の特産品



峠の茶屋(北中城村)

「大好きな北中城村の魅力をみんなに伝えたい」
ゆんたくから生まれるアイデアで特産品を開発

人・モノ・文化 地域物語

つながる広がる

人・モノ・笑顔が集まる コミュニティスペース

北中城村の「峠の茶屋」は、中城城跡を一望する高台に建つお食事処。店主の島袋恵美子さんが村の資源と人材をつなぎ、魅力あふれる商品を次々とプロデュースしています。

きっかけは「地域の役に立ちたい」と参加した北中城村商工会主催の人材育成塾「ぐすく塾」。活動の中で、地域の農家で過剰生産された野菜を売る朝市を企画。大勢の人が応援に集まる駅伝大会の朝、キャベツやホウレンソウなどを農家が直接販売し、二時間で完売。農家が客と話す機会をもつことで喜びや気づきがあり、告知ポスターづくりやテントの設置、呼び込みはみんなで分担。「そのときの団結の楽しさや達成感が今の活動の基礎になった」と話します。

お客さまと作り手の想いを「橋渡し」

朝市をきっかけに、地元野菜を紹介する峠の茶屋を四年前にオープン。農家とのつきあひも広がりました。学校給食に野菜を提供する若手農家の高良健さんもその一人。「僕も村の野菜を食べて育った。もつと

門外。島袋さんの発想や行動力が刺激になった」と話します。

陶芸家の山内米一さんは、村のシンボルとなるシーサーの作り手。峠の茶屋では山内さんの器を販売し、料理の器としても一部使用。また、村内のスージグワー(筋道)や飲食店の重要文化財である中村家を使った週末美術館のイベントでも島袋さんと協力。「自分の得意分野で必要とされることは幸せ。彼女のようになんが輝ける」と話します。

原動力はあふれんばかりの「地域愛」

「ここはみんなの店。ワイワイゆんたくしながら、商品開発のアイデアが見つければいい」と島袋さん。店では筋ジストロフィー症を抱えて音楽活動を行う謝花伊早武さんや、八十八歳のおばあさんより昔ながらの知恵を学ぶトークライブも開催。

「北中城村にある素晴らしい人や資源を一つひとつつなげていきたい」と微笑む島袋さん。地域のアンマー兼プロデューサーとして、仲間たちとの地域づくりを楽しんでいます。

お問い合わせ
峠の茶屋
電話:098-9353718

ろいろな野菜を子どもたちに届けたい」。高良さんに新しい農業を期待し、店での野菜の取り扱いや人脈紹介で応援する島袋さん。

「母親みたいな島袋さんの温かさ」にみんなが惹かれ、協力したくなる」と話す元農家の安里芳子さんは、手作りスコーンやローゼルジャム、野菜のウコン漬けなどの加工品を製造。

隣の中城村で島ニンジン栽培する安里雄徳さんは、冬が旬の島ニンジンを夏場も楽しめるように、島袋さんと相談しながら乾燥・粉末化を検討。「島袋さんのおかげで出会いが広がった」と喜びます。

島袋さんは「信頼できる人たちが作るものは自信を持って提供できる」と話し、作り手の想いや食べ方をお客さまへ、お客さまの声を作り手に伝えます。「おいしかった」という声にも、もつといいものを作ろう!と意欲が湧くと芳子さん。

刺激を与え合う仲間が地域づくりのカギ

島袋さんは、アーサの拠点産地である北中城村をPRしようと、店でのアーサメニュー提供のほか、漁協との連携でアーサを麺に練りこんだ沖繩そばを開発。佐敷中城漁協北中城支所長でアーサ加工部会会長の田仲康信さんは、「海人は、商品化は専

編集後記

2月の3連休、JR東海のCM「そうだ。京都、行こう」のりで京都へ!お寺や祇園など京都らしい街角をのんびり散歩していると、はらはらと雪が降り、春の桜や秋の紅葉とひと味違った京都の風情がありました。冬の京都はオフシーズンなのか観光客が少なく、旅行にお勧めです!(momo)

本年7月、テレビ放送は完全に地上デジタル放送に移行し、アナログ放送は終了します。デジタルテレビなどを購入してもすぐに地上デジタル放送を受信できない場合があります。また、完全にデジタル直前にはアンテナ工事や機器の納品の対応が遅れが生じるおそれもあります。詳しくは、デジサポ沖繩または県情報政策課まで。(これちなう)

沖縄県広報誌
平成23年3月1日発行第35巻3号通巻426号

美ら島沖繩

●表紙 写真・島袋常貴
●表紙 撮影協力・糸満市役所

企画・編集・発行 沖縄県知事公室広報課
〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2
TEL.098-866-2020

アンケート

「美ら島沖繩」の感想をお聞かせください。

パソコンはこちら

<http://www.pref.okinawa.jp/churahome/>



沖縄国際アジア音楽祭
3月18日~20日開催!



沖縄国際アジア音楽祭
3月18日~20日開催!